

**製品名: FoxO4 (アセチル Lys189) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06188**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FOXO4 AFX AFX1 MLLT7
別名	Forkhead box protein O4 (Fork head domain transcription factor AFX1)
遺伝子 ID	4303.0
SwissProt ID	P98177
免疫原	AA 範囲: 189 のヒトタンパク質からの合成アセチルペプチド

**背景**

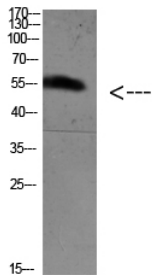
この遺伝子は、Oクラスの winged helix/forkhead 転写因子ファミリーのメンバーをコードしています。このクラスによってコードされるタンパク質は、成長と分化に関与する因子によって制御されており、これらのプロセスにおいて役割を果たしていることが示

唆されています。X染色体上のこの遺伝子と、11番染色体に位置するDNA結合タンパク質をコードするショウジョウバエ trithorax 遺伝子の相同遺伝子との転座は、白血病と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010年1月]、疾患：急性白血病では FOXO4 に関連する染色体異常が認められます。MLL/HRX との転座 t(X;11)(q13;q23)。その結果、異常な活性化タンパク質が生成されます。機能：インスリンシグナル伝達経路の制御に関与する転写因子。インスリン応答配列 (IRE) に結合し、IGFBP1 の転写を活性化する。HIF1A の発現をダウンレギュレーションし、低酸素誘導による HIF1A 調節遺伝子の転写活性化を抑制する。また、細胞周期の負の調節にも関与する。医薬品：リン酸化部位 Thr-32、Ser-187、および Ser-262 がアラニンに変異した恒常活性型 FOXO4 変異体は、ERBB2 を介した細胞生存、形質転換、および腫瘍形成を阻害するため、ERBB2/HER2 過剰発現癌の治療薬として期待される。PTM：ペルオキシダーゼストレスによって誘導される CBP によるアセチル化は、転写活性を阻害する。SIRT1 による脱アセチル化は NAD 依存性であり、転写活性を刺激する。PTM：PKB/AKT1 によるリン酸化は転写活性を阻害し、細胞質局在を担う。類似性：フォークヘッド DNA 結合ドメインを1つ含む。細胞内局在：リン酸化されると核から細胞質へ移行する。脱リン酸化は核移行を誘発する。サブユニット：CBP、MYOCD、SIRT1、SRF、YWHAZ と相互作用する。CBP によってアセチル化され、SIRT1 によって脱アセチル化される。YWHAZ の結合は DNA 結合を阻害する。組織特異性：心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓。アイソフォーム ζ は肝臓、腎臓、膵臓に最も多く存在する。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



3T3 マウス腎臓 KB K562 Hela ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は 500 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。